

自分の命は「自分で守る！」～避難訓練・冬期の火災

昨日の3校時に火災を想定した避難訓練をしました。冬期間は、屋根からの落雪のため教室のベランダからの避難ができなくなります。昨日は2階理科室からの出火という想定でしたので、出火元から遠ざかるように、どの学年も1階廊下奥の非常口から避難しました。5月の避難訓練よりもやや遠回りの避難経路でしたが、校門前に整列し全員の安全を確認するまでに要した時間は3分ほどでした。前回同様、「おはしも(おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない)」を守り、ハンカチで口と鼻を押さえてしっかりと避難することができました

今回の避難訓練では、この後、体育館に場所を移して「煙道体験」を行いました。煙の中を非難するときに大事なことを3つ教えていただきました。①煙を吸わないように、ハンカチで口と鼻を押さえること。②煙は上の方に移動するので、姿勢を低くして逃げ道が見えるようにすること。また、③それでもよく見えないときには、手で壁を触りながら避難するとよいのだそうです。消防署員の方のお話が終わり、いよいよ「煙道体験」です。1回目は学年ごとに、2回目は一人ずつ行いました。体育館は明るいのですが、細長いテントのような「煙道」に入ってみると、白い煙で前が全然見えません。教わった通り姿勢を低くしたのですが、それでも前がよく見えず、壁を触りながら進んでみました。5・6歩進むと出口が見えてきて、無事に通過することができました。これが、もし辺りが真っ暗で黒い煙だったら…と、改めて火災の恐ろしさを感じました。

子どもたちの振り返りは、次の通りでした。「ハンカチで口と鼻を押さえて避難することができた」「姿勢を低くしたら前が見えた」「一言もしゃべらずに避難することができた」「煙の中、息を止め、下を向いて歩けばよいことが分かった」「改めて火事の怖さを知った」「煙の中、前が見えなくて恐かった」など、「火災の怖さ」や「命を守ることの大切さ」について実感したようです。

消防署員の方からは、次のようなお願いがありました。「今回感じたことを家族の方々にも伝えてください。そして、自分の家の警報器がどこにあるのかを家族と一緒に確かめてみてください。また、火災の原因の一つに、『子どもの火遊び』があるので、火遊びは絶対にしないでください。」

これから本格的な積雪期を迎えるにあたり、火災防止のために大切なこと、もしもの時の避難経路など、家庭でも話題にさせていただきたいと思います。



＜「角館小学校との交流会（11/22）」のふり返りから＞

- 角館小学校の6年生は、グループごとに分かれて話し合っていました。これは、中川小学校ではあまりできないことなので、これから、このことを意識して授業に取り組みたいです。中学校では、大勢の人の前での発表をがんばりたいです。そのために、よい態度で発表できるようにしたいです。
(6年 K.Rさん)
- 角館小学校の6年生は、書くとき、聞くとき、話し合うときの切り替えが早かったです。グループ活動でも、自分の意見や考えをしっかりと saying いていいなあと思いました。中学校進学に向けて人の話をしっかりと聞くようにしたいです。そのために、授業の時、相手のことを見て話を聞くようにがんばりたいです。
(6年 T.Mさん)
- 角館小学校の5・6年生は、授業に集中していてすごいなと思いました。また、ロッカーの中が整頓されてきれいでした。統合に向けて、勉強をがんばりたいです。そして、持ち物の整頓をがんばりたいです。
(5年 T.Sさん)
- ぼくは、角館小学校の授業を見学してみて、ぼくたちと似ているなど思ったところは、あいさつです。始まり、終わりの号令が同じでした。みんな元気に手をあげたり、発表したりしているところも同じだと思いました。窓から桜の木が見られました。教室がすごく静かでした。統合に向けてがんばりたいことは勉強です。大勢の中で話が聞き取れるか少し心配です。でも、すごく楽しそうで今から楽しみです。
(5年 T.Hさん)
- 角館小学校にも、ふわふわ言葉がありました。となりの人と机がくっついていました。角館小学校の人たちは、みんな自信をもって手をあげていました。統合に向けてがんばりたいことは、自信をもって発表すること、自分から進んで物事をがんばることです。そして、先生の話もしっかり聞いて理かいすることをがんばりたいです。
(4年 O.Aさん)
- 角館小学校では、チャイムがなっていたし、ロッカーが一人に一個だったところが、中川小学校とはちがうなあと思いました。また、教室の中に電子黒板やタブレットがありませんでした。同じだったところは、(授業の始まりと終わりの)あいさつです。(統合に向けて)手をあげてから発表したり、すぐに質問したりしないで、自分の力で授業をしたい(考えたい)と思いました。
(3年 K.Aさん)
- 角館小学校と中川小学校は、勉強が始まる時のあいさつが同じでした。図工や生活の時間の時につくえをくっつけるところがにっていました。角館小のみんなは、ことばづかいに気をつけていました。たてわりあそびでは、トランプをしたのしかだったので、またやりたいです。たのしくあそべてよかったです。(統合に向けて)相手の目を見てしっかりと話を聞くようにしたいです。
(2年 K.Aさん)
- マットあそびのチームが4人いて、いいなあとおもいました。人がおおいのでびっくりしました。おりがみのプレゼントがたくさんあってびっくりしました。たてわりあそびでは、7人か8人くらいですごろくができて、よかったです。「さいしょに、中川小学校の1年生の人からでいいよ。」といわれてうれしかったです。ほいくえんのときは、4人でやりました。そのときよりたのしかったです。(統合に向けて)人のはなしをよくききたいです。はなしの中みがわかってから「はい」とへんじができるようにしておきたいです。ともだちとおはなしをして、なかよくできるようにしておきたいです。
(1年 K.Kさん)

